

薬学英語1A (Pharmacy English 1A)					担当教員	
					教授	佐藤 毅
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	非常勤講師	中井 久郎
					非常勤講師	天野 博夫
					非常勤講師	鎌田 雅夫
外国語	1年次 前期	講義	1.5単位	必修	非常勤講師	磯山 悟朗

【概要】

薬学をはじめ、生命科学系の専門家には専門的情報を発信できる力が求められ、そのために、英語は必要不可欠である。薬学英語1Aは、今後の薬学、専門英語のイントロダクションとして位置付けられている。本講義は演習中心の講義とし、これまで学習してきた化学を振り返りながら、「読む」、「聞く」、「表現する」ことを通して、専門的英語に慣れ親しみ、その基礎力を養う。

【授業の一般目標】

この講義は、化学的内容に関して、英文を正確に読み、聞き取り、さらに英語で表現する（英作文）ための基礎力の構築を目標とする。化学の基礎である物質の状態、化学反応等に関して、専門用語、それらを用いた表現を習得し、化学に関する簡単な作文ができるようになることを目指す。

【準備学習(予習・復習)】

教科書の内容を学習し、授業の前後にしっかりと予習・復習すること。CDなどを使って、聞き取りの練習を繰り返して学習し、また、教本の練習問題にも必ず取り組んで欲しい。教科書Appendix 2に載っている英文をしっかりと覚えること。毎回の講義において確認テストを行う（詳細は初回講義において説明する。）。この予習、復習には1週当たり150分程度必要となる。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	Matter	上記を参照	物質の分類に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
2	Matter	上記を参照	ろうの組成の分析実験に関する文章を読み、実験操作等の表現を習得する。
3	Gas	上記を参照	気体に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
4	Gas	上記を参照	酸素を発生させる実験に関する英文を読み、実験操作等に関する表現を習得する。
5	Solution	上記を参照	溶液に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
6	Solution	上記を参照	塩化ナトリウムと硝酸カリウムの混合物から硝酸カリウムを単離する実験に関する文章を読み、実験操作等の表現を習得する。
7	Change of State	上記を参照	物質の三態に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
8	Change of State	上記を参照	オレンジの皮からのリモネンの抽出実験に関する文章を読み、実験操作等の表現を習得する。
9	中間試験	上記を参照	第1回から第8回の内容確認
10	Chemical Reaction	上記を参照	化学反応に関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
11	Chemical Reaction	上記を参照	石灰水と二酸化炭素の反応の実験に関する英文を読み、実験操作等の表現を習得する。
12	Atom and Element	上記を参照	原子と元素に関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
13	Ions	上記を参照	イオンに関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
14	Organic Chemistry	上記を参照	有機化学に関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得する。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

【成績評価方法・基準】

中間試験（４０％）と期末試験（４０％）の成績、および毎回の提出物（２０％）等を評価。

【評価のフィードバック】

試験の解説を試験終了後に、Moodle上に公開する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

佐藤：月曜日、火曜日 13:00-17:00。

メール(アドレス等の連絡先は初回講義において連絡する)にてアポイントメントを取ること。